

飯山市地域公共交通会議 顛末

令和2年10月23日（金）14時00分
飯山市役所 4階 第2～4委員会室

1 開会（進行：木村企画財政課長）

2 会長あいさつ

（堀内会長）

前回の書面会議で、会長を仰せつかった。

前回の会議は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面での開催となったが、現在は長野県の感染警戒レベルが1ということもあり、今回は換気などの感染対策をとった上で、会議形式での開催とした。

公共交通を担う運行事業者の皆様におかれましては、運賃収入の減少など厳しい状況の中、感染対策を行いながら、市民の日常的な移動手段として日々運行をしていただいていることに対して、御礼を申し上げる。

3 協議事項

- （1）コミュニティバス斑尾線の冬期ダイヤについて 資料1
別紙、資料1を事務局が説明。

※資料1-3はコミュニティバス斑尾線以外の路線が全て確定していないため非公表としました。

質疑応答

特になし

（会長）

承認ということでよろしいか。

《承認》

- （2）菜の花バス市街地循環線の冬期間における休日の一部試験運行の実施について 資料2
別紙、資料2を事務局が説明

質疑応答

特になし

（会長）

承認ということでよろしいか。

《承認》

4 その他

(委員)

新型コロナウイルスの影響について、4月下旬ごろから定期券の販売が落ち、また、定期以外の売り上げも落ちた。4月から5月の減少が大きい。前年の3割程度の実績。

6月以降は学校が再開したため、9月の時点では収入は前年の7～8割程度くらいには戻ってきた。ただし、今後も前年並みには戻らないと考えている。4月以降についても難しいのではないかと観測している。

路線バスは元々赤字部門で、貸し切りバスと高速バスで穴埋めをしている状況だが、貸し切りバスについては4月ごろからほぼ稼働がなくなってしまった。9月ごろからようやく長野市で学校輸送が始まり、若干貸し切りの収入が上がってきたが、前年と比べると非常に厳しい状況。高速バスも同様の状況。

今年度においては大きな損失になると考えている。

来年についても善光寺の御開帳が1年延期したため、非常に厳しい状況が続くのではないかと考えている。

5 閉会